

◆人文科学研究科 身体表象文化学専攻 博士後期課程 カリキュラムマップ

教育研究上の目的							
身体表象文化学専攻は、現代のイメージ芸術(主に舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーション)に関して総括的な知識と歴史的展望とを有し、専攻分野の研究対象に対して批評的一貫性のある分析を遂行し、それに基づいて現代文化について確かな意見を発信し、社会的な行動へと結びつける能力を持つ人材を養成する。							
ディプロマ・ポリシー							
(知識・技能)							
1 舞台芸術、映像芸術、マンガ・アニメーション、身体表象文化論、身体表象文化史の5つの分野のうち1分野に関して、広範な知識を身につけ、とくに自身の研究の主題及びその周辺の学術成果を把握している。							
2 自身の専攻する分野及び研究する主題に関して、長文の論文をまとめ、不特定多数の知的聴衆に向けて講演を行うことができる。							
(思考・判断・表現)							
3 自らの研究で得た知見に基づき、様々な形での意見表明や教育活動への関わりを行うことで、社会に貢献することができる。							
(関心・意欲・態度)							
4 自身の専攻する分野について包括的な専門知識を修得し、方法的検討をしつつ特定の専門的研究テーマに取り組む意欲がある。							
5 自らの研究で得た知見に基づき、より大きな社会的・文化的問題について積極的に取り組む意欲を持っている。							
分野系列	科目名	単位	知識・技能		思考・判断・表現	関心・意欲・態度	
			1	2	3	4	5
【必修科目】	博士論文	0	○	◎	◎	○	◎
	博士論文指導	2	○	◎	◎	○	◎
【選択必修科目】	舞台芸術文化論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	映像芸術文化論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	マンガ・アニメーション芸術文化論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	ジェンダー文化論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	身体表象文化史演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	表象文化制度論演習	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	舞台芸術批評研究	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
	映像芸術批評研究	2 または 4	◎	○	◎	○	◎
マンガ・アニメーション芸術批評研究	2 または 4	◎	○	◎	○	◎	